

生命流域の再生をめざして 生物多様性条約市民ネットワーク(CBD市民ネット)・生命流域作業部会

生物多様性条約の根幹には南北問題がある、というのが私たちの確信です。例えば、COP10最大の課題は遺伝資源から得られる利益の公正衡平な配分(=ABS)の問題であり、先進国と途上国間で激しい攻防が予想されています。国内に目を転じれば、過疎や高齢化、農林業不振で苦しむ上流域と、商工業で繁栄する下流域都市圏の間に大きな格差が存在しています。しかも、上流域の疲弊は勝手に起きたわけではなく、下流域が働き手を上流域から吸いとり、自由貿易体制下で工業製品を輸出するのと引き換えに、安価な農林産物が輸入されたからです。工業発展の負の産物としての廃棄物が水源である上流に運ばれていくという不条理もあります。まさに内なる南北問題です。

内湾漁業の不振も深刻です。干潟や藻場の埋め立てや水質汚濁によって、かつては豊饒だった沿岸域の漁業は衰退し、後を継ぐ若者も不足しています。流通業界の都合から、数がまとまらない魚種はたとえ獲れても商品化されなくて捨てられるという不条理まで伝えられています。水と生命の循環がカプトルした生命流域圏が、下流域都市圏の物質的繁栄によって切断され、疲弊しているのです。グローバルコモンズ(=共有財産)としての地球を未来の人々へと無傷でわたすためには、世界中でローカルコモンズとしての生命流域を再生していかなければなりません。

COP10開催地となる名古屋都市圏は、おいしくて安全な木曾川の水を安価に享受していますが、多くの市民はその水が上流域の豊かな生態系からもたらされていることに気がついていません。7月17～18日、私たちは環境省中部地方環境事務所と



河村名古屋市長vs柳川元御高町長

もに、木曾川上流域で最も困窮している王滝村において河村名古屋市長を含む下流域市民150名とともに「生命流域シンポジウムin王滝村」を行いました。下流域市民にとっての覚醒の旅であり、生命流域再生に向けての出発点です。



王滝シンポ集合写真

CBD市民ネット・生命流域作業部会HP:

<http://www.cbdnet.jp>

お問い合わせ: jcnforcbd@gmail.com

素敵な自分を発見する旅 三重県鳥羽 海島遊民くらぶ

「素敵な自分を発見する旅」それが、海島遊民くらぶのコンセプトです。

私たちがツアーを行うフィールド、鳥羽湾は、山々から流れ込んでくる栄養たっぷりの水と太平洋からのきれいな水が入り混じる場所。そこは、海藻がとっても豊富なため、魚や貝をはじめとするいろいろな種類の生き物を育てています。

美しいリアス式海岸の磯場には、ちいさな生き物たちの世界が広がり、その海の中を覗いてみると、色とりどりの海藻の世界が待ち受けています。その海藻のそばには、たくさんの魚が泳ぎまわり、海の生き物たちが、私たちを迎え入れてくれます。そして顔を上げると、そこにはさまざまな生き物を育む大きな海と、色鮮やかな緑の木々が島にしっかりと根を張っている風景が広がっています。



たくさんの生きものを育む豊かな自然

また、鳥羽湾には4つの有人離島と10以上の無人島が点在し、それらの有人離島では、昔からほぼ変わりなく人々が生活しています。

道端で干物を干す「かあさん」、漁港で水揚げをする「とうさん」、海辺で日向ぼっこをする「おいしいちゃん」「おばあちゃん」。そんな島民の普段の生活を見せてもらったり、話を伺ったり。ゆったりと流れる時間のなかで、島民のみなさんは、ガイドでは伝えきれない「島民ならではの」のたしかなもの伝えてくれます。



ワカメを干す島のかあさん

このような素敵な景色・人・食べ物・時間、「鳥羽ならではの」に囲まれて発見してほしいのは、あなた自身の素敵さです。いつもとは違う空間の中で、あなただけの五感を使い、鳥羽ならではの自然や文化を体感していただきたいと思います。そして、日常とは離れた空間のなかで、一緒に来てくれた家族・友だち・恋人の素敵な部分を発見してみませんか。

海島遊民くらぶ HP: <http://oz-group.jp/>

お問い合わせ: kurage@oz-group.jp